社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 令和05年01月23日

接換の場合   今後の9年度   9年間   1年間   1月間   1月間	計画の名称 安全安心なく	くらしを支える都市空間の形成(防災・	・安全)							
### ### ### ### ### ### #### #### ###	計画の期間 令和05年	F度 ~ 令和 O 9 年度 (5年間)						重点配象	分対象の該当	
全体事業費(百万円)         合計(A+B+C+D)         13,965 A         13,965 B         0 C         0 D         0 数果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)         0           番号         「企業的指標の定義及び第定式 と異的指標の定義及び第定式 と異的視点 は同様表 と異的規模 と異性な と異性な と異性な と異性な と異性な と異性な と異性な と異性な	交付対象 福岡県,大野	城市,春日市								
### ### ### #########################	計画の目標都市における	る交通安全の確保のため通学路等におけ	ける歩道の整備を行う。また(	并せて市街地における収容空間	間機能を利用した無電柱化に	よる良好な都市空間の形成	<b>戈を図る。</b>			
計算         上版 日本	全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	13, 965 A	13, 965 B	0 C	0 D	0 効果促進	進事業費の割合C∕(A+B・	+ C + D)	0 %
番号         定量的指標の定義及び算定式         定量的指標の定義及び算定式         当初現況値         中間目標値         最終目標値           1         街路整備区間における死傷事故件数を16件/年から中間目標15件/年、最終目標13件/年に削減する。         お飲み策通学路における死傷事故件数の算定         16件/年         15件/年         13件/年           対象の街路整備箇所における死傷事故数を2割削減する。         取得が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。         4%         60%         100%										
番号 作品空間視視値 (R4末)中間目標値 (R4末)最終目標値 (R9末)1 行路対策通学路における死傷事故件数を16件/年から中間目標15件/年、最終目標13件/年に削減する。16件/年 対象の省路整備箇所における死傷事故件数の算定 対象の省路整備箇所における死傷事故数を2割削減する。16件/年 (B4年)15件/年 (B4年)13件/年 (B4年)2 安全安心な街路空間の安全性の向上果民が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。4%60%100%				計	画の成果目標(定量的指標)					
上         当初現况値         中間目標値         最終目標値           (R4末)         (R7末)         (R9末)           1         街路整備区間における死傷事故件数を16件/年から中間目標15件/年、最終目標13件/年に削減する。         16件/年         15件/年         13件/年           対象の街路整備箇所における死傷事故教を2割削減する。         16件/年         15件/年         13件/年           2         県民が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。         4%         60%         100%	<b>코</b> ㅁ.							定量的指標の現況値及び	目標値	
1 街路整備区間における死傷事故件数を16件/年から中間目標15件/年、最終目標13件/年に削減する。	<b>番</b> 万		定量的指標の	定義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最	終目標値
街路対策通学路における死傷事故件数の算定 対象の街路整備箇所における死傷事故数を2割削減する。       16件/年       15件/年       13件/年         2 安全安心な街路空間の安全性の向上       県民が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。       4%       60%       100%							(R4末)	(R7末)	(R9末)	
対象の街路整備箇所における死傷事故数を2割削減する。       1 <td< td=""><td></td><td></td><td>目標15件/年、最終目標13件/</td><td>年に削減する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>			目標15件/年、最終目標13件/	年に削減する。						
2       県民が安全に安心して通行できる街路空間の安全率を0%から向上させる。         安全安心な街路空間の安全性の向上       4%       60%       100%				16件/年   15件/年						
安全安心な街路空間の安全性の向上 4% 60% 100%										
			%から回上させる。				40/	609/	1009/	
				4 /0	00 76	100 %				
	XIXIII		/ I (IEIM)EX)							
							1	•		
							1			

1

		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名		事業内容	市区町村名/	重業:		(任度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別1	種別2	(事業箇所)		(延長・面積等)				R08 R09	(百万円)		策定状況
本軒 字木 (八)	HE 4					<u> </u> される効果			(爭未圓川)		(延尺 面積寸)	1215 地区有	KOO K	30   KO1	KOO KOO	(0.011)	火皿ル	
		備考	一体的に実施することにより期待される効果 構考															
道路事業	A01-001		一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	境口鴨生田線	改築	0. 51km	直方市				4, 610	1. 1	_
			T	T	T	I		T	I	T								
	A01-002	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	那珂川宇美線(下白水西 工区)	改築	0. 52km	春日市				1, 351		_
	A01-003	街路	一般	大野城市	直接	大野城市	S街路	改築	中川久保線(I工区)	改築	0. 70kn	大野城市				639		_
	A01-004	<b>2±</b> □□ <b>4</b>	一般	大野城市	古拉	大野城市	S街路	改築	中川久保線(II 工区)	34,447	0. 68km	大野城市				1, 251		
	A01-004	担岭	一加又	八野城川	但按	八野城川	01416	以架	中川久休稼(Ⅱ 工区)	以架	U. 68KM	八野城川				1, 201		
	A01-005	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	下老良植木線	改築	0. 35km	直方市				770	1. 1	_
	A01-006	街路	一般	春日市	直接	春日市	S街路	改築	光町大土井線	改築	0. 45km	春日市				1, 975		_
	A01-007	街路	一般	春日市	直接	春日市	S街路	改築	小倉紅葉ヶ丘線	改築	0. 59km	春日市				3, 369		-
				1										_ I				
												小計				13, 965		

基幹事業		事業	地域	交付	直接	事業者	4£0// 4	種別2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			間(年月			個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		1年万月 1	性別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R05	R06   R0	7 R08	R09 (百万円)	便益比	策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果															
		備考															
											合計				13, 965		
													•	•	•		•
ļ																	
					1				Т							1	T

2 案件番号: 0000695127

(単位:百万円)

	RO5	R06		
配分額(a)	629	447		
計画別流用増△減額(b)	0	0		
交付額(c=a+b)	629	447		
前年度からの繰越額 (d)	133	248		
支払済額 (e)	514	459		
翌年度繰越額(f)	248	236		
うち未契約繰越額(g)	0	139		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	20		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		関連事業との調整により工		
合その理由		事着手が延期したため		

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

## 事前評価チェックシート

計画の名称: 安全安心なくらしを支える都市空間の形成(防災・安全)

	事 前 評 価	チェック欄
□ 日標の妥当性 地域の課題への対応 □ □ 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 □ □ 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭化 □ □ 計画の効果・効率性 目的と事業内容の整合性 □ □ 計画の効果・効率性 目的と事業内容の整合性 □ □ 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 □ □ 計画の実現可能性 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1. 目標の妥当性	
□ 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 □ 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭化 □ 計画の効果・効率性 目的と事業内容の整合性 □ 計画の効果・効率性 目的と事業内容の整合性 □ 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 □ 計画の実現可能性 □ 円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	基本方針・上位計画等との適合等	0
□ 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 □ 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭化 □ 計画の効果・効率性 目的と事業内容の整合性 □ 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 □ 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 □ 計画の実現可能性 □ 円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1. 目標の妥当性	
II. 計画の効果・効率性   定量的指標の明瞭化		0
II. 計画の効果・効率性   定量的指標の明瞭化	II. 計画の効果・効率性	
II. 計画の効果・効率性		0
II. 計画の効果・効率性	II. 計画の効果・効率性	
III. 計画の効果・効率性         事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性         III. 計画の実現可能性         円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)         IIII. 計画の実現可能性         IIII. 計画の実現可能性		0
III. 計画の効果・効率性         事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性         III. 計画の実現可能性         円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)         IIII. 計画の実現可能性         IIII. 計画の実現可能性	II.   計画の効果・効率性	
事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性         III. 計画の実現可能性         円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)         III. 計画の実現可能性         UNITED TO BUILD TO B		0
III. 計画の実現可能性           円滑な事業振興の環境(事業熱度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)           III. 計画の実現可能性	II. 計画の効果・効率性	
III. 計画の実現可能性		0
III. 計画の実現可能性		1
III. 計画の実現可能性 地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) ○		0
地元の機連(住民、民間等の店動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)		ı
	地元の機連(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 	0
		1
		T
		T
		I
		T
		I